

2018年3月2日
新日鉄住金化学株式会社
新日鉄住金マテリアルズ株式会社

新日鉄住金化学株式会社と新日鉄住金マテリアルズ株式会社の経営統合について

新日鉄住金化学株式会社（以下「新日鉄住金化学」といいます）と新日鉄住金マテリアルズ株式会社（以下「新日鉄住金マテリアルズ」といいます）は、2018年3月2日開催の取締役会において、経営統合（以下「本統合」といいます）を行うことをそれぞれ決議し、「経営統合に関する基本合意書」を締結いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

本統合は、本年10月1日を効力発生日とし、統合会社の商号は「新日鉄住金ケミカル&マテリアル株式会社（英文：NIPPON STEEL & SUMIKIN Chemical & Material Co., Ltd.）」とする予定です。

記

1. 本統合の背景

- ・ 新日鉄住金化学と新日鉄住金マテリアルズは、新日鉄住金株式会社（以下「新日鉄住金」といいます）の企業グループのセグメント会社として、それぞれが対応する市場分野にて事業展開を推進してきました。
- ・ 新日鉄住金化学は新日鉄住金の製鉄プロセスのコークス副産物（粗ベンゼン、タール）の高付加価値化を目的として設立され、石炭化学の分野で培った多様な芳香族化学技術を駆使することで、石炭化学のトップランナーであるのみならず、独自の素材技術を活かした高機能材料への事業展開を進めてきました。
- ・ 新日鉄住金マテリアルズは新日鉄住金の新素材事業本部を母体として設立され、新日鉄住金の技術開発本部の開発成果の事業化をミッションの一つとしつつ、半導体実装材料、炭素繊維・複合材、排気ガス浄化用触媒担体等で多くの特色ある事業・商品を開発・上市してきました。
- ・ 両社は、これまで長年の努力と技術的な強みを背景にして、いくつかの商品では高シェア・高収益性を実現するなど、事業面でも存在感を高めてまいりましたが、それぞれが有する技術には更なるポテンシャルがあり、今後これらを活用・発揮させることで、更なる成長を目指すことができます。
- ・ 両社を取り巻く事業環境等を展望しますと、需要家はグローバル規模で統合再編を進め、ますます巨大化しており、新商品の開発スピード・品質・供給力等に対する要求は一層強まり、多様化していくと想定されます。また、競合者との競争激化、追い上げも無視できず、したがって、両社とも、このような動きに的確に対応する力を備えていく必要があります。
- ・ 新日鉄住金グループとしても、将来的に見込まれる自動車マルチマテリアル化の進展、車載電装・電池・半導体等の電子機能材料分野における新たな材料ニーズの拡大等を受け、社会や顧客ニーズの変化に対応して、総合的な素材対応力を強化していく必要があります。

2. 本統合の目的

- ・新日鉄住金化学と新日鉄住金マテリアルズの事業を一体化し、新日鉄住金化学の芳香族化学合成・精製・配合等の素材設計製造技術と、新日鉄住金マテリアルズの薄箔・細線・微粒子等の材料技術を組み合わせ融合させることで、新日鉄住金グループが目指す総合素材対応力強化の一翼を担うとともに、経営力、人材、技術開発力、財務体力などの経営資源の厚みを増し、将来の事業成長・拡大に向けた基盤を整えます。そのうえで、新技術や新商品の開発を加速し、顧客への提案力とサービスの向上も図り、顧客への訴求力を強化していきます。

3. 本統合の基本コンセプト

新日鉄住金化学と新日鉄住金マテリアルズは、以下の施策を推進し、両社の統合効果を早期に実現すること、製鉄事業とのシナジーを拡大していくことで、顧客・取引先・地域等からの更なる信頼向上と新日鉄住金グループのセグメント会社として期待される役割の実現につなげて参ります。

(電子機能材料分野)

- ・ 幾つかの事業・商品でトップランナーを有する電子機能材料分野（無接着剤 FPC 用銅張積層板、半導体用ボンディングワイヤ、金属箔等）においては、共通する市場で、顧客ニーズを集約することにより、横断的な営業力の強化を図るとともに、両社が強みを持つ商品、技術を統合することで更なる強化・シナジーを創出し、IoT 等電装化、情報化が進展する市場分野への対応力の向上を図ります。

(炭素繊維・複合材事業)

- ・ 新日鉄住金化学のエポキシ樹脂、新日鉄住金マテリアルズの炭素繊維・複合材事業では、それぞれのリソースを相互活用して新商品の開発・事業化に取り組むとともに、新日鉄住金グループとして取り組む自動車メーカーをはじめとする世の中のマルチマテリアル化への対応に貢献していきます。

(コールケミカル・化学事業)

- ・ 新日鉄住金化学のコールケミカル事業と化学事業については、製鉄プロセスのコークス副産物（粗ベンゼン、タール）の高付加価値化を使命として、技術やコスト等の競争力をより一層高めて連結収益に貢献していくことはもとより、CO₂の削減・有価化や水素利用技術の高度化への取り組みにも貢献していきます。

これらの諸施策を推進していく上で、必要に応じ、外部リソースの活用・連携も柔軟かつ積極的に取り組み、急速に変化する市場、社会・顧客ニーズに的確に対応していきます。

4. 本統合の要旨

(1) 統合予定日	2018年10月1日
(2) 新社名(予定)	新日鉄住金ケミカル&マテリアル株式会社 (英文:NIPPON STEEL & SUMIKIN Chemical & Material Co., Ltd.)
(3) 主な事業内容	ピッチコークス、ピッチ、ナフタリン、無水フタル酸、カーボンブラック、スチレンモノマー、ビスフェノールA、スチレン系樹脂、エポキシ樹脂、無接着剤FPC用銅張積層板、液晶ディスプレイ材料、有機EL材料、UV・熱硬化性樹脂材料、圧延金属箔、半導体用ボンディングワイヤ・マイクロボール、半導体封止材用フィラー、炭素繊維複合材、排気ガス浄化用触媒担体
(4) 資本金	50億円
(5) 株主	新日鉄住金株式会社(100%)

5. 本統合当事者の概要

(1) 社名	新日鉄住金化学株式会社 <英文名> NIPPON STEEL & SUMIKIN CHEMICAL CO., LTD.	新日鉄住金マテリアルズ株式会社 <英文名> NIPPON STEEL & SUMIKIN MATERIALS CO., LTD.
(2) 設立年月日	1956年10月1日	2006年7月1日
(3) 本社所在地	東京都千代田区外神田4-14-1	東京都中央区銀座7-16-3
(4) 代表者	代表取締役社長 太田克彦	代表取締役社長 山田健司
(5) 主な事業内容	ピッチコークス、ピッチ、ナフタリン、無水フタル酸、カーボンブラック、スチレンモノマー、ビスフェノールA、スチレン系樹脂、エポキシ樹脂、無接着剤FPC用銅張積層板、液晶ディスプレイ材料、有機EL材料、UV・熱硬化性樹脂材料	圧延金属箔、半導体用ボンディングワイヤ・マイクロボール、半導体封止材用フィラー、炭素繊維複合材、排気ガス浄化用触媒担体
(6) 資本金	50億円	30億円
(7) 株主	新日鉄住金株式会社(100%)	新日鉄住金株式会社(100%)
(8) 売上高	1,742億円(連結:2017年3月期)	345億円(連結:2017年3月期)
(9) 従業員数	1,872名(連結:2017年3月末現在)	1,404名(連結:2017年3月末現在)

6. 親会社（新日鐵住金株）の概要

(1) 社名	新日鐵住金株式会社
(2) 設立年月日	2012年10月1日（新日鐵住金発足）
(3) 本社所在地	東京都千代田区丸の内 2-6-1
(4) 代表者	代表取締役社長 進藤孝生
(5) 主な事業内容	製鉄、エンジニアリング、化学、新素材、システムソリューションの各事業
(6) 資本金	4,195 億円
(7) 売上高	46,328 億円（連結：2017年3月期）
(8) 従業員数	92,309 名（連結：2017年3月末現在）

※本件に関する問い合わせ先

新日鐵住金化学 総務部

TEL 03-5207-7600

新日鐵住金マテリアルズ 企画総務部

TEL 03-6853-6260

以 上